

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会  
2006年度第1回図書館サービス・システム委員会議事録

日 時：2006年5月8日(月)13時30分～17時00分

場 所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学

出席者：鈴木卓美(金城学院大学)、長坂功(愛知大学)、塚本ひとみ(愛知学院大学)、  
丹羽直美(愛知学泉大学)、小川真智子(愛知工業大学)、長澤千恵(岐阜聖徳学園  
大学)、坂本尚泰(皇學館大学)、春日井正人(中京大学)、蓑島智子(中部大学)、  
中川大信(豊橋創造大学)、守田正江(名古屋外国語大学・名古屋学芸大学)、  
尾崎友子(名古屋女子大学)、石田信(南山大学)、柘植幸子(椋山女学園大学)  
計14名

記 録：柘植幸子(椋山女学園大学)

【協議事項】

議事に先立ち、委員の交代が紹介された。

1) 2006年度活動計画について

鈴木委員長より、今年度の事業計画案が提示され、委員会開催予定、活動計画が確認された。

委員会開催予定

第1回	2006年	5月	8日(月)	名古屋外国語大学・名古屋学芸大学
第2回	2006年	6月	8日(木)	岐阜聖徳学園大学(岐阜キャンパス)
第3回	2006年	9月	14日(木)	椋山女学園大学
第4回	2006年	10月	下旬	<研修会>神宮会館・皇學館大学
第5回	2006年	12月	1日(金)	愛知学院大学

活動計画

1. 委員会の開催年5回程度(昨年度より1回減)
2. システム・ネットワーク化アンケートの実施
3. 研修会の開催
4. その他  
ホームページのメンテナンス  
メーリングリストの管理

2) 2006年度予算について

鈴木委員長より、今年度の委員会予算案が提示された。昨年度までとの変更点として、研修会参加費を収入の部・支出の部それぞれに加えることで、出入がより明確となった。

収入の部の予算は、委員会支援費 210,000 円、研修会支援費 70,000 円、研修会参加費 600,000 円で、合計 880,000 円。支出の部の予算は、会議費 105,000 円、通信費 5,000 円、事務費 100,000 円、研修会事業費 670,000 円で、合計 880,000 円。事務費のうち 50,000 円は、アンケート集計プログラム作成費に充てる。

3) システム・ネットワーク化アンケートについて

尾崎委員より、担当者会議により作成されたシステム・ネットワーク化アンケート案に基

づき説明がされ、アンケート項目について協議がされた。電子ジャーナル・データベース購読状況を削除する等、昨年度までに比べ大幅に簡略化された内容となった。主な変更内容は以下のとおり。

- ・ Q.1 システム化状況
  - Q.1-1 コンピュータ化状況、Q.1-5 次期システム導入予定を削除。Q.1-6 自由記入欄にシステム入替等予定を記入してもらう。
- ・ Q.2 利用者PC設置と利用方法
  - Q.2-1 業務PC設置数、Q.2-3 図書館内の利用者用 Internet 接続PC数、Q.2-7 利用者用PCの設定等を削除するほか、自由記入設問をまとめる形で少なくする。
- ・ Q.3 ネットワーク管理状況
  - すべて削除。
- ・ Q.4 電子ジャーナル・データベース購読状況
  - すべて削除。但し、統合ソフトに関する設問を Q.11 その他で追加する。
- ・ Q.5 所蔵資料電子化状況
  - Q.5-1 をまとめ、データ保存フォーマットや公開方法等の設問は削除する。
- ・ Q.6 所蔵状況・データ入力状況
  - 変更なし。
- ・ Q.7 国立情報学研究所(NII)への参加状況
  - Q.7-1 総合目録データベース所蔵レコード登録件数に、電子ジャーナル登録件数の設問を追加する。
- ・ Q.8 相互協力(文献複写)に関する状況
  - Q.8-1 年間相互協力利用件数、Q.8-2 受付方法、Q.8-3 送付方法、Q.8-4 複写料金を削除する。
- ・ Q.9 相互協力(文献貸借)に関する状況
  - Q.9-1 年間相互協力利用件数、Q.9-2 受付方法、Q.9-6 期間及び冊数、Q.9-7 レンディングポリシーを削除する。
- ・ Q.10 図書館の開館<新規追加>
  - 通常時平日・土曜の閉館時間、日曜開館・一般開放の実施等についての設問を加える。また、一般開放による登録者数については、各館によるカウント方法が異なるため、設問方法を次回までに再検討する。
- ・ Q.11 その他
  - Q.11-2 夜間開館・日曜開館は Q.10 に追加したため削除、Q.11-6 個人情報保護法施行後の変更は昨年度で確認できたため削除する。また、統合ソフトに関する設問をここで追加する。

次回6月の第2回委員会でアンケート項目を確定し、7月初旬に各大学へ依頼、回答期限を7月末までとする。その後集計を行ない、9月の第3回委員会で報告内容を確認し、10月の研修会にて発表する。

#### 4) 2006年度研修会について

葦島委員より、研修会担当者会議議事録および研修会実施要領案に基づき説明がされた。決定事項は以下のとおり。

日 程：10月18日(水)～20(金)、もしくは10月25日(水)～27日(金)の連続2日間で調整する。

場 所：神宮会館(伊勢市)

日程・料金等については坂本委員が確認する。

参加費：15,000円

講師：井上真琴氏（同志社大学総合情報センターサービス課今出川係長）を第一候補とする。詳細は今後詰める。

分科会：原案に基づき協議したが、最終決定には至らず。次回までの課題とする。昨年と同様に担当業務別とし、テクニカルサービス系 1 種・パブリックサービス系 2 種にしてはどうかとの意見も出された。

5) 東海地区協議会ホームページについて

石田委員より、私立大学図書館協会ホームページのトップページが改訂される予定があること、またそれに伴い、東地区・西地区さらには東海地区のトップページも同様に改訂する必要があるという報告がされた。

6) ILL 料金低額提供について

尾崎委員より、東海地区協議会加盟館 ILL 料金低額提供についての提案がされた。昨年度の北海道地区コンソーシアムの見学会による反響が大きかったという経緯があり、東海地区での導入案が提示された。一方、現場サイドでは業務煩雑化に対する懸念の声も聞かれ、具体化には更に時間と話し合いが必要になると予想される。

7) 2007 年度見学会について

現在のところ具体的な見学先候補はなし。次回までの課題とする。

8) その他

委員の役割分担について再確認がされた。

委員長：鈴木  
記録：小川・柘植  
研修会：守田・塚本・蓑島・坂本  
アンケート：小川・中川・石田・尾崎  
ホームページ：丹羽・春日井・長坂  
会計：長澤

以上